

平成26年9月27日(土) 長野県 御嶽山 噴火災害

位置図



○対応状況

- 9月27日
 - 13:20 警戒対策本部設置(長野県)
 - 13:35 災害警備本部設置(長野県警察)
 - 13:55 長野県警察本部機動隊出動
 - 14:10 御嶽山噴火災害対策本部設置(長野県)
 - 14:30 災害医療本部設置
 - 14:31 自衛隊に災害派遣要請
 - 15:26 DMAT出動要請
 - 16:40 関係省庁連絡会議開催(国)
 - 20:30 緊急消防援助隊 出動要請
 - 22:10 県消防応援活動調整本部設置
- 9月28日
 - 13:00 非常災害対策本部設置(国)
 - 15:30 御嶽噴火に係る政府調査団(内閣副大臣)
 - 22:00 非常災害現地対策本部設置(国)

○噴火概要

御嶽山では、9月27日11時52分頃に噴火が発生しました。今回の噴火の規模は1979年の噴火と同程度と考えられます。火砕流が南西方向に3キロメートル以上流下し、気象レーダーの観測によると噴煙は東に流れ、その高度は火口上約7,000メートルと推定されます。その後の上空からの調査によると、噴火は剣ヶ峰山頂の南西側で北西から南東にのびる火口列から発生したとみられ、大きな噴石が火口列から1キロメートルの範囲に飛散しているのが確認されました。火砕流は発生しましたが、地獄谷付近で樹木等が焦げたような痕跡は認められませんでした。また、噴出した火山灰には新鮮なマグマに由来する物質は確認されておらず、今回の噴火は水蒸気噴火であったと考えられます。御嶽山で噴火が発生したのは2007年以来です。(火山噴火予知連絡会拡大幹事会見解から引用)

○御嶽山 噴火災害(平成26年10月23日13:00現在)
 噴火日時 平成26年9月27日(土) 11:52分頃
 被害状況
 人的被害:死亡57名、重傷27名、軽傷32名
 行方不明:6名



要救助者は火口から1km圏内に集中している。特に剣ヶ峰頂上付近、八丁ダルミ付近に集中している状況。



標高3000m付近の捜索救助活動のためヘリを使用し活動部隊を展開。



山岳地域の急斜面での捜索救助活動のため、ヘリ収容が困難な場合は、隊員による人力搬送も行う。

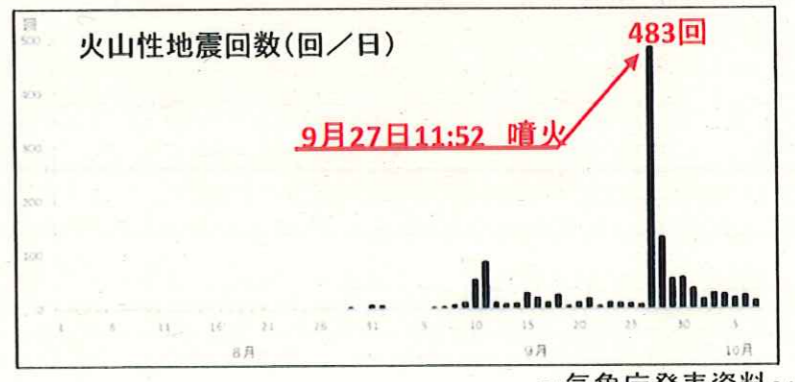


火山性ガスの発生濃度を常に確認しながら捜索救助活動を行う。

山麓松原スポーツ公園からヘリにより部隊を展開。

地上部隊の捜索救助活動は、王滝口、黒沢口より朝6時ごろ入山し約3時間かけて頂上付近捜索エリアに到着し活動を展開する。

堆積した火山灰は泥濘し、足場の悪い中、金属探知機、探査棒を使用して要救助者の捜索を実施。



~気象庁発表資料~

御嶽噴火災害 搜索救助活動の状況(9月27日～10月16日)

搜索救助活動の状況

御嶽山噴火災害に係る搜索救助活動は、標高3,000m付近の高標高地での活動であり、火山性ガスの発生、高山病、低体温症そして泥濘した火山灰等非常に困難を極める搜索救助活動です。地上部隊は、約3時間の登山道を経て搜索エリアに到着し、急峻な地形の山岳地域での活動を行います。発見者の搬送も、ヘリでの搬送が困難な場合は人力にて登山口まで搬送しました。ヘリの活動も山岳特有の強風、そして噴煙を気にしながらの非常に危険な活動を実施しています。

搜索救助活動 対応人員数

日	9月28日	9月29日	9月30日	10月1日	10月2日	10月3日	10月4日	10月5日	10月6日	10月7日	10月8日	10月9日	10月10日	10月11日	10月12日	10月13日	10月14日	10月15日	10月16日	計
人数	702	884	1,082	1,065	1,118	0	991	0	0	1,024	1,022	0	1,117	1,164	1,150	0	0	1,896	1,961	15,176
備考						降雨		降雨	降雨			降雨			降雨	降雨				

1) 第一期搜索救助活動

第一期搜索救助活動(9月28日～10月6日)

登山道、山小屋、避難小屋を中心に点と線による搜索救助活動を実施。

凡例
 ■: 登山道搜索救助実施
 ○: 山小屋、避難小屋搜索救助実施

岐阜県: 下呂市、木曾町、行場山荘、御嶽神社事務所、王滝村、王滝頂上、王滝山荘、九合目、二ノ池、一ノ池、剣ヶ峰、トラバース、八丁ダルミ、王滝頂上、九合目避難小屋

長野県: 王滝山荘、山小屋、避難小屋

ガス検知器にて火山性ガスの濃度を確認しながら作業。

自衛隊ヘリにて隊員の輸送も実施。

山頂でホイストによる救助を行う自衛隊ヘリコプター(UH-60JA)

急斜面での発見者の搬送は困難を極めた。

山小屋の搜索救助状況

火山灰は泥濘化し、深いところは胸高まで決んでしまう。

2) 第二期搜索救助活動

第二期搜索救助活動(10月7日～10月14日)

目撃情報、登山者の証言を参考に頂上付近の重点的な搜索エリアを定め、金属探知機、探査棒を使用し面的な搜索救助活動を実施。

搜索救助活動 凡例
 ■: 第二期搜索実施エリア
 ■: 立入りが危険なエリア

凡例
 ○: 登山道
 ■: 山小屋
 □: 避難小屋

岐阜県: 二ノ池、一ノ池、剣ヶ峰、トラバース、八丁ダルミ、王滝頂上、九合目、王滝村、王滝山荘、九合目避難小屋

長野県: 王滝頂上、王滝山荘、九合目避難小屋

金属探知機を使用している搜索状況

横一列に並び面的に搜索救助活動を実施

横一列に並び面的に搜索救助活動を実施(八丁ダルミ搜索エリア)

急斜面の活動は山岳手法(ザイル)を用いて搜索を実施。

※立入りが危険なエリアの搜索は

今回の噴火口

3) 第三期搜索救助活動

第三期搜索救助活動(10月15日～10月16日)

第一期、第二期の搜索救助活動の結果を受け、さらに、台風19号通過後の形状変化を踏まえた搜索救助活動を御嶽山全体で実施。

- ・全ての登山道の搜索幅を広げて実施
- ・山頂付近の山小屋、剣ヶ峰、八丁ダルミ、トラバース、一ノ池、二の池付近を重点的に搜索
- ・急傾斜地のヘリによる目視搜索

凡例
 ○: 登山道
 ■: 山小屋
 □: 避難小屋

岐阜県: 高山市、下呂市、木曾町、行場山荘、御嶽神社事務所、王滝村、王滝頂上、王滝山荘、九合目、二ノ池、一ノ池、剣ヶ峰、トラバース、八丁ダルミ、王滝頂上、九合目避難小屋

長野県: 王滝山荘、山小屋、避難小屋

全ての山小屋、避難小屋、登山道と、八丁ダルミ、トラバース、一ノ池及び二の池を重点的に搜索救助活動を実施。また、急斜面等の立入りが危険なエリアのヘリコプターによる目視搜索を実施。

凡例
 ■: 登山道搜索救助実施
 ○: 山小屋、避難小屋搜索救助実施
 ■: 重点搜索エリア